

2017年09月13日

鹿児島大学病院で

2012年1月から2017年5月までに

腹水濾過濃縮再静注法の治療を受けた患者さんへ

( 医学系研究に関する情報 )

鹿児島大学病院臨床技術部臨床工学部門では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

**【研究課題名】**

腹水濾過濃縮再静注法の濃縮方法についての検討

**【研究機関】**

鹿児島大学病院 臨床技術部 臨床工学部門

**【研究責任者】**

鹿児島大学病院 臨床技術部 臨床工学部門  
臨床工学技士長 谷口 賢二郎

**【研究の目的】**

この研究は、2012年1月から2017年5月までの間に鹿児島大学病院で腹水濾過濃縮再静注法を行った難治性腹水症の患者さん61例を対象とし、その有用性について解析を行うことを目的としています。

**【研究の方法】**

この研究は、患者さんのカルテに記載された診療情報を用いて行います。

#### 【対象となる患者さん】

2012年1月から2017年5月までの間に鹿児島大学病院で腹水濾過濃縮再静注法を行った難治性腹水症の患者さん61例を対象としています。

#### 【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

カルテから以下の情報を抽出し研究に使用します。

年齢、性別、発熱の有無、濃縮前後の腹水タンパク濃度、対象疾患、腹水濾過濃縮再静注法の施行条件、濾過濃縮前の腹水LDH・血清LDH・血清Alb・腹水Alb、濾過濃縮前後の腹水量・IL-6・IL-8、ステロイド剤投与の有無、非ステロイド性抗炎症薬投与の有無

#### 【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。取得した個人情報は研究責任者が厳重に管理します。

#### 【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科救急・集中治療医学分野と鹿児島大学病院臨床工学部門の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

#### 【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った

措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 臨床技術部臨床工学部門

臨床工学技士長 谷口 賢二郎

電話 099-275-6686 FAX 099-275-6687